

令和6年度モニタリングシート

【施設名等】

施設名	大洲市立大洲学園	位置	大洲市市木1005番地1
指定管理者名	社会福祉法人大洲育成園	所管課	社会福祉課 Tel0893-24-1758

【施設の概要】

設置年月日	昭和60年 4月 1日	構造	本館 鉄筋コンクリート2階建 指導棟 鉄筋コンクリート平屋建 作業棟 鉄骨スレート葺平屋建
設置目的	障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスその他の支援を行い、もって福祉の増進を図る。		
施設機能	第1部…(定員)生活介護40人 施設入所支援40人 第2部…(定員)生活介護30人 施設入所支援30人		
利用料金等	大洲市立大洲学園条例第9条及び 大洲市立大洲学園条例施行規則第2条のとおり (所得に応じた負担上限月額及び食事の提供に要する費用等の実費)		
開館・閉館	年中無休		
指定管理業務内容	障害者総合支援法に規定する指定障害福祉サービスの提供 (生活介護サービス、施設入所支援サービス)		
施設管理体制	施設長1名、サービス管理責任者2名、生活支援員22名、 看護師2名、管理栄養士1名、事務員1名、嘱託医2名 <令和7年3月31日時点>		

【施設利用者数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R6年度	1,666	1,709	1,650	1,692	1,669	1,610	1,627
R5年度	1,740	1,798	1,732	1,798	1,798	1,703	1,749
比較	△74	△89	△82	△106	△129	△93	△122
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R6年度	1,592	1,611	1,599	1,475	1,643	19,543	
R5年度	1,710	1,767	1,765	1,609	1,713	20,882	
比較	△118	△156	△166	△134	△70	△1,339	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

(単位:円)

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
指定管理料	0	人件費	170,749,349
障害福祉サービス事業収入	223,163,430	事業費	42,564,789
利用料金	35,723,181	事務費	41,904,343
受取利息配当金収入	84,395	固定資産取得支出	144,700
その他	43,557	積立資産支出	21,217,177
積立資産取崩収入	1,254,807		
合 計	260,269,370	合 計	276,580,358

【サービス向上に向けた取り組み】

R6年度	<p>自傷行為や物を壊すなど、周囲の人に影響を及ぼす行動が多く、特別な支援が必要な強度行動障がいの状態を示す利用者に対して、その障がいの特性や周りの環境を把握し、本人に合った支援を施設全体での取り組みとして実践できた。</p> <p>利用者個々の嗜好・要望に応じ、目的地の設定を行った班別レクリエーション(バス遠足等)に関して、年間を通じて実施できた。</p> <p>災害に備えるため、簡易トイレ、ポータブルトイレ、テント等の備品を購入した。</p> <p>給与引上げの実施や福祉職として専門性を高めている職員に対して正規職員への登用等、職員の処遇改善に向けての取り組みを行った。</p>
R5年度	<p>感染防止や衛生面に留意し、夜市・盆踊り大会が3年ぶりに開催できたこと、また、日中活動班別でのバス遠足など、充実した各種活動が実施できた。食事については、行事食やデリバリーを活用して、利用者の満足度を高める工夫を実践できた。</p> <p>利用者が快適に過ごせることができるよう、2階男性トイレにシャワーを設置した。</p> <p>障がいや生活状況等を詳細にモニタリングし、利用者の要望等を把握した上で、関係機関と連携し、利用者1名を就労事業所に繋げる(転所)ことが出来た。</p> <p>福祉職として専門性を高めている職員に対して正規職員登用試験の実施、また、年次有給休暇の取得強化月間を設けるなど、処遇改善の実施とともに、働きやすい職場環境の整備に努めた。</p>

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス相談日の開催3回(9月、12月、3月) ・利用者会議の開催 12回(4月～3月)の毎月 …「生活」、「食事」、「行事」などについて、利用者の意見聴取をする機会の場を提供し、要望等を聞くことができた。 ・苦情箱の設置 苦情・要望なし ・利用者対象の満足度調査の実施(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情0件、要望・雑談22件。 ・満足度調査等で出た要望は、食事に関することや外出に関する内容が多かった。食事メニュー等の嗜好においては、給食業務委託業者と情報共有し、バランスの取れた食事の提供に努め、希望している行事においては、各種イベントを開催の上、概ね対応できた。

【指定管理者の自己検証】

1. 強度行動障がいの状態を示す利用者に対して、適切な支援を行う職員に加え、適切な障がい特性の評価及び支援計画の作成ができる職員の人材養成を図るため、今後も研修を受講していきたい。
2. 県障がい者スポーツ大会、ボッチャ大会(南予福祉施設会)等、対外的な行事に積極的に参加できた。また、当初目標としていた県外旅行を実施するなど、利用者個々の嗜好・要望に応じたサービスの提供が出来た。
3. 今回購入した簡易トイレ、ポータブルトイレ、テント等の備品も活用し、BCP(業務継続計画)に係る訓練・研修を継続的に実施していきたい。
4. 大洲学園の民間移管・移管建替に関する説明会(9月:保護者、2月:地域住民)が開催され、今後の方針について大きく進展があった。一日も早く円滑な移管が実施できるよう、今後も保護者・市と連携して、事業を推進していきたい。
5. 広報誌「ふれあいだより」や社会福祉法人大洲育成園HPを通して適時情報の発信ができた。また、利用者・職員の地元自治会への行事参加や中学生の福祉体験の受入れも行い、今後も情報公開や地域・関係機関との連携に努めていきたい。
6. 指定管理による運営開始後、2回目の福祉サービス第三者評価を受審した。外部の評価機関から指摘のあった事項については、今後の課題として取り組んでいきたい。

【施設所管課の検証・評価】

協定書および仕様書に基づき、適切な管理運営がなされており、利用者のニーズに応じた支援やサービスの提供が行われている。強度行動障害支援者養成研修を受講するなど、職員の資質向上に努めており、引き続き、専門的支援が可能な人材育成に取り組んでいただきたい。

県外旅行の実施や県障がい者スポーツ大会、ボッチャ大会等への積極的な参加を通じて、利用者の生活の質の向上と社会参加の促進が図られている。また、BCP(業務継続計画)に基づいた訓練の実施や備品の整備により、災害時における対応力の強化にも努めている点は、今後の安心・安全な施設運営に繋がるものである。

広報誌やHPを通じた情報発信に加え、地域行事への参加や福祉体験の受入れなど、地域に開かれた施設運営が行われており、今後も外部評価等の結果を踏まえながら、更なるサービスの向上を期待している。